

不安のある人と共に考える 車中泊避難

発達障害児者の子育て・親育ちシリーズ20



障害のある人や高齢者、配慮の必要な人は、「周りに迷惑かけてしまう」と感じて避難所での生活をあきらめ車中泊避難を選ぶことが多いといわれています。

そこで防災ファシリテーターとして活躍されている大久保大助氏に、実証実験を基とした車中泊避難についてお話いただき、会場の皆さんの不安を共有し、あらたな車中泊のあり方についていっしょに考えていきましょう。

日時：2024年7月6日（土） 10時20分～12時30分

会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階 大セミナールーム
（北九州市小倉北区大手町11-4）

※公共交通機関のご利用をお願いします

参加費：500円

定員：160名

主催：北九州市自閉症協会 共催：福岡県自閉症協会

後援（予定）：北九州市教育委員会、社会福祉法人北九州市福祉事業団

問合せ：093-964-1102

大久保 大助氏 プロフィール

特定非営利活動法人KID's work 代表理事/九州防災パートナーズ理事

1974年生まれ。小倉生まれ八幡育ち

2009年小学生を対象とした野外活動や生活体験活動の企画・運営や調査などを行う団体KID's workを設立。防災工作や防災クッキングなどの子どもたちへの防災の取り組みの他、北九州市主催の「みんなde Bousaiまちづくり推進事業」で防災ファシリテーターも務めています。2021年「車中泊避難所実証実験（全5回）」には、運営者として参加しました。

共著：「車中泊避難所運営における今後の課題 —実証実験によるあらたなマニュアル化に向けて—」
（日本福祉大学社会福祉論集 149号（2023年））

【主な役職】

福岡大学：非常勤講師

総務省：地域力創造アドバイザー

北九州市子ども・子育て会議：委員

北九州市市民活動サポートセンター：専門相談員

福岡県県民会議：体験活動推進コーディネーター

北九州市キャンプ協会：理事

（一社）九州防災パートナーズ：理事

避難の選択肢を増やし
不安を減らすため
車中泊避難を
共に学び考えよう



<北九州市自閉症協会>

自閉症児・者が地域社会の中でともに生き生きと暮らせるよう行政を含め社会全体へ働きかけています。自閉症への理解と支援のための講演会・勉強会・出前講義、余暇支援・会報誌発行など行っています。日本自閉症協会・福岡県自閉症協会が上部組織です。

北九州市自閉症協会HP

<https://www.asj-kitakyushu.org/>



